

建築構造材としての可能性をアピール アルミで世界最大級シャンデリアを吊り下げ

～恵比寿ガーデンプレイス「Baccarat ETERNAL LIGHTS 2006-2007」に特別協賛～

アルミ製住宅および構造材の設計開発、製造、販売会社であるSUS株式会社（静岡県静岡市、代表取締役社長：石田保夫 URL：<http://www.sus.co.jp>）は、恵比寿ガーデンプレイスの冬の風物詩として有名なバカラのシャンデリア・イルミネーション（2006年11月3日～2007年1月14日）の特別協賛社として、世界最大級・約1.5トンのシャンデリアを吊るすショーケースをアルミで製作いたします。これにより、アルミの「軽くて弱い」というイメージを払拭し、建築構造材として利用できることを社会にアピールいたします。

総重量約1.5トンのバカラ社製シャンデリアは、高さ約5m、幅約3m、パーツ総数8,226ピース、ライト総数250灯。これを支えるアルミ製ショーケースは、高さ約10m（3階建て相当）、幅約6m×6m、アルミの使用総重量約9トンの、中間に水平の補強部材を入れないガラス張りの吹き抜けです。このように強度を要する大空間をアルミでつく成することは、建築業界初の試みです。建築構造材であると同時に外装デザインとしての役割も備えるアルミ製「ラチス（格子）パネル」（別紙参照）を組み合わせる4本の柱が、この空間を実現します。なお、本ショーケースは建築基準法に適合する建築物です。また、施工は10月中旬から約2週間を予定しています。



アルミ製ショーケースのその他の特長は以下の通りです。

■高いデザイン性を実現

鉄骨や木ではできない曲線や格子模様の構造体で、シャンデリアを引き立てる印象的なデザインを実現します。

■重量制限がある場所でも高強度の建築物が可能

軽量でも強度のあるアルミは、恵比寿ガーデンプレイスのような人工基盤で重量制限のある場所に有効です。

■軽量さが実現する工期の短さ

工場で柱構造部材を大組し、現場で4本の柱構造部材を接合する工法を採用しているため、短期間の施工を可能としています。また、工場での組立により寸法精度も高めることができます。

アルミ製ショーケースについて恵比寿ガーデンプレイスでは、「イルミネーションのテーマは“光とキラメキの未来に”です。環境への配慮から、未来の循環型社会に必要なリユース・リデュース・リサイクルに優れたアルミはぴったりの素材だと思います。また、アルミには、伝統あるバカラのシャンデリアを引き立てるにふさわしい、金属ながら温かい質感やデザイン性の高さもあります。」と話しています。

弊社では、2002年の建築基準法改正でアルミが構造材として認可されて以来、手軽に自分だけの空間を作り出せる空間構築システム「tsubomi」をはじめ、室内環境を快適に保つ住宅コントロールシステムを導入した未来型アルミ住宅、アルミの海の家など、“アルミによる新たな空間”を積極的に提案し、アルミ建築普及に努めてきました。本イベントを通じて、より多くの方々にアルミ建築の魅力と可能性を感じていただきたい考えです。

本件に関するお問い合わせ窓口

SUS本社広報担当：小倉 / 電話 0543-61-0061 / e-mail : k-ogura@sus.co.jp

＜参考資料＞

■ラチスパネル

十字形の押出材を必要な強度に応じた厚さで切断しトラス構造に組んでパネル化したもの。基本サイズ 1.2m 四方のこのパネルをブロックのように組み立てて建築の構造壁とする架構システム (特許出願中) を推進しています。弊社と山本理顕設計工場が共同開発。構造材としては通常の壁部材並みの高剛性・高強度があります。今回のショーケースでは壁ではなく柱として応用します。

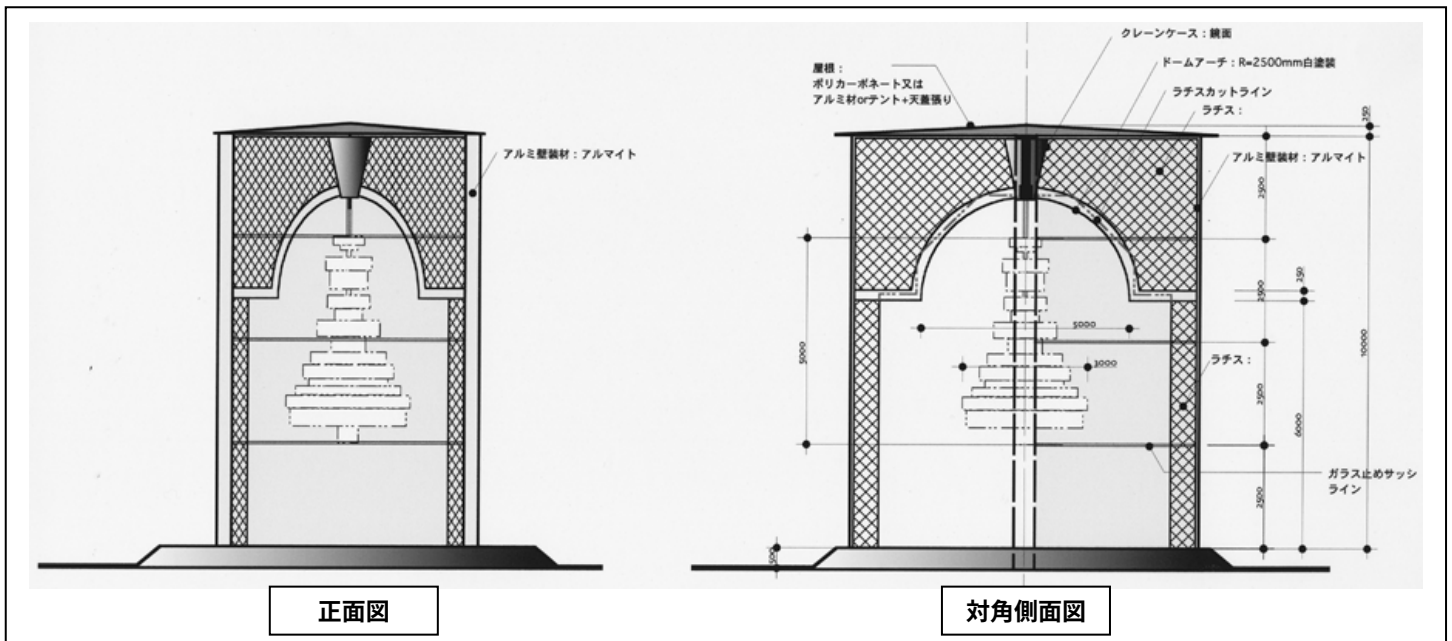
(左) ラチスパネル

(右) ラチスパネルを使用した

SUS九州事業所「ecom house」



■完成イメージ図



SUS (エスユウエス) 株式会社 概要

【本 社】 静岡県静岡市清水区尾羽105-1

【東京事業所】 東京都千代田区平河町2-1-1 ORIKEN平河町ビル2F

【事業内容】 アルミ製住宅及び建築用アルミ構造材の設計開発、製造販売。

アルミ製オーダーメイド家具及びアルミ建材の製造販売。

FA (ファクトリーオートメーション) 向け機械装置及びユニット機器製品の設計開発・製造・販売。

— 参考資料 —

YEBISU GARDEN PLACE

— YEBISU GARDEN PLACE CHANDELIER ILLUMINATION —

バカラの世界最大級シャンデリアが恵比寿の街を、人を包む

Baccarat **ETERNAL LIGHTS 2006-2007**
— 光とキラメキの未来に —

会 期 : 2006年11月3日(金・祝) ~ 2007年1月14日(日)

会 場 : 恵比寿ガーデンプレイス・センター広場

主 催 : 恵比寿ガーデンプレイス、バカラ パシフィック株式会社

特別協賛 : SUS 株式会社

恵比寿ガーデンプレイス(gardenplace.jp)とバカラ パシフィック株式会社(www.baccarat.fr)は、特別協賛社としてSUS株式会社(www.sus.co.jp)を迎え、2006年11月3日(金・祝)から2007年1月14日(日)までの期間、恵比寿ガーデンプレイスのセンター広場をメイン会場とし、シャンデリア・イルミネーション『*Baccarat* ETERNAL LIGHTS 2006-2007』-光とキラメキの未来に-を開催します。

本イベントは、恵比寿ガーデンプレイスの年間コンセプトである「Slow Life, Quality Time. YEBISU STYLE 06 ゆっくり、豊かに、毎日を生きる。」を柱に、世界最大級のバカラ製シャンデリアや、温かみのある色合いのイルミネーションを通じて、ゆったりとして、安らぎを与える恵比寿ガーデンプレイスの街を装飾する企画です。

展示するシャンデリアはフランス・バカラ社のもので、高さ約5m、幅約3m、クリスタルパーツ総数8,226ピース、ライト総数250燈の世界最大級を誇ります。1999年から2004年までの過去6年、恵比寿ガーデンプレイスで展示したバカラ創設230周年を記念として制作された230燈のものを、250燈にグレード・アップさせました。観るものに、そして社会に、より明るい“あかり(未来)”を提供できるようにとの思いから、“光とキラメキの未来に”をテーマに表現します。

加えて今回の特長は、高さ約10m、幅約6mのシャンデリア展示ケースをアルミで製作している点です。未来の循環型社会に必要なリデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）を可能にするアルミ部材で、1.5トンのシャンデリアを吊るす展示ケースは、建築業界初の試みです。

アルミの展示ケースは、「最良の素材、最高の技術、そしてそれを継承すること」というバカラの理念に基づいて製作され、金属でありながら温かい色合いや素材感をもつアルミの特性を活かし、斬新で美しいフォルムを描きます。

このアルミが持つ素材の魅力と、「王者たちのクリスタル」と呼ばれる栄誉を 242 年間にわたり受け継がれてきたバカラの伝統と歴史の象徴・250 燈シャンデリアが相俟って、訪れる方の時間を忘れさせ、贅沢で豊かな空間を演出します。

恵比寿ガーデンプレイスでは、「Slow Life, Quality Time. YEBISU STYLE 06 ゆっくり、豊かに、毎日を生きる。」を施設全体の年間コンセプトとして掲げ、心を満たすゆるやかな時間と、人生を彩る豊かな空間を提供していきます。ゆっくり、豊かに、毎日を生きる、「YEBISU STYLE 06」。そこから見えてくるもの、こだわるべきこと、そして大切にしたいひとときをお楽しみ下さい。

※点燈式は、11月3日(金・祝)の17:00からを予定しています。

また、恵比寿ガーデンプレイスでは、シャンデリア・イルミネーションの他、施設内のクリスマス装飾や各種イベントを予定しており、その詳細に関しましては、再度、ご案内させていただきます。

＝本件に関するお問い合わせ先＝

■報道機関のお問い合わせ先

恵比寿ガーデンプレイス株式会社 営業部 中島、菊地、太田

TEL 03-5423-7101 FAX 03-5423-7100

ラリス株式会社 担当 松岡、千々波

TEL 03-5114-5728 FAX 03-3585-8187

■お客様からのお問い合わせ先

恵比寿ガーデンプレイス・インフォメーション

TEL 03-5423-7111 URL <http://gardenplace.jp>

[シャンデリア・イルミネーション概要]

Baccarat ETERNAL LIGHTS 2006-2007 — 光とキラメキの未来に —

- タイトル : 『 *Baccarat* ETERNAL LIGHTS 2006—2007 』 -光とキラメキの未来に-
- 主催 : 恵比寿ガーデンプレイス、バカラ パシフィック株式会社
- 特別協賛 : SUS 株式会社
- 会期 : 2006 年 11 月 3 日 (金・祝) ～2007 年 1 月 14 日 (日)
(ライトアップ時間)
・「Baccarat 250 燈シャンデリア」 12:00～23:00
- 会場 : 恵比寿ガーデンプレイス・センター広場
- 完成予想図 : ※素材に関しましては、画像データ等をご用意しております。必要な素材がありましたら、
下記お問い合わせ先まで、ご連絡下さい。可能な限り、ご協力させていただきます。



<参考資料>



250 燈シャンデリアについて

今回展示するシャンデリアはフランス・バカラ社のもので、高さ約5m、幅約3m、クリスタルパーツ総数8,226ピース、ライト総数250燈の世界最大級を誇ります。

250燈シャンデリアは、1994年バカラ創設230周年を記念して制作された230燈のシャンデリアをベースに20燈分の灯りを増やしたものです。

2005年に恵比寿ガーデンプレイスでの展示を終えた後、フランス・バカラ村にて燈数が増やされ、さらなる未来に向けて輝きをましました。

バカラ

その起源

バカラは、1764 年、ルイ十五世の認可を受けて、パリから東へ 400 キロ、フランス東部ロレーヌ地方にあるバカラ村に創設されました。たび重なる戦争で、疲弊しきっていたこの地でしたが、当時のロレーヌ地方の統治主であったモンモランシー・ラヴァル司教がそれを憂いて、豊かな水と森林という好条件を備えたこの地の復興のために、クリスタル産業を発展させようとしたのがはじまりでした。以来、「最良の素材、最高の技術、そしてそれを継承すること」という初期に基礎を築いたピエール・A・ゴダール・デマレの理念に基づき、バカラは三世紀にわたり、一貫して至上の美を求め続け、高級クリスタルの代名詞とまで言われるようになったのです。

現在でも、その働き手の約半数がバカラに勤めているという人口約 5500 人のバカラ村では親子三代がバカラ社で働いているという例も珍しくありません。バカラのクリスタルは、今も変わらず、この小さな村の工場で作られているのです。

最高の技術

バカラの素材や技術の素晴らしさは、これまで多くの職人が、フランス大統領より与えられるフランス最優秀職人（M.O.F.）と呼ばれる栄誉ある称号を受けていることにもあらわれています。現在もその数は 25 名と、フランス国内の一企業としては最多であり、熟練した職人の技術の継承に多くの力を注いでいるバカラならではのことです。

美しく深い透明感を持つバカラならではのクリスタル素材と、カットやグラヴェールによるダイナミック、あるいは繊細な装飾、そしてその効果によって生み出される光の屈折。さらに、丁寧な仕上げによる滑らかな質感もバカラの特徴のひとつです。

バカラクリスタルは、今日でもそのひとつひとつが成形から検品まで、M.O.F.をはじめとする多くの職人たちの手を経て生まれています。

名 声

バカラの技術が飛躍的に進歩したのは、19 世紀から 20 世紀にかけてのパリ万博をはじめとする博覧会においての数々の受賞と無縁ではありません。

グラスや装飾品の、その意匠の見事さや洗練されたデザインなどが高く評価され、それはバカラの尽きない創造意欲の大きな励みとなりました。また、大きなシャンデリアや燭台、そして家具や噴水など、それまではクリスタルでは考えられなかったものを制作して出品し、人々を驚かせました。

同時にその名前は世界中に広がり、フランスブルボン王朝をはじめ、ロシアのニコライ二世、インドのマハラジャなど、世界中の王侯貴族たちにも愛用されるようになりました。

バカラに魅せられた彼らからは特別注文があいつぎ、いつのまにか「王者たちのクリスタル」とよばれるようになったのです。パリ、バカラ美術館では、それらの優れた作品や各国王や元首の紋章入りのグラスなどが年代ごとに展示され、バカラの歴史の深さをうかがい知ることができます。

シャンデリア バカラクリスタルのきらめきが美しく空間を照らすシャンデリア。

1824 年にフランスで初めてクリスタルのシャンデリアを制作し始めたバカラは、1855 年のパリ万国博覧会への出品以来、さまざまなデザイン、スケールのシャンデリアを制作してきました。

バカラの創造性が自在に発揮されたそれらの作品は世界で賞賛的となり、各国の王侯貴族や実業家はこぞって自邸に、建築家は作品となった建築物に飾りました。それは成功の象徴であり、またあるときには建物や空間に芸術的完成をもたらすものでした。

2006 年には『10 人の女性デザイナーによるバカラシャンデリア展』が世界に先駆け東京で公開され、既成概念にとらわれない個性的なアート作品としてのシャンデリアがバカラの創造の可能性を証明し話題を呼びました。

シャンデリア、それはバカラクリスタルによる比類のない透明度と芸術的完成度の高い光の芸術として、また、バカラのアイデンティティである“光”と“キラメキ”を象徴する存在として、長い歴史を通して変わらず輝き続けています。

現代と未来

そして現代、常に時代の美を追求するバカラは、現代人の求める生活美学をかたちにしています。社内外の優れたデザイナーの起用、クリスタルの輝きや鮮やかな色をいかしたビジュウ（ジュエリー）コレクションの展開、時代が求める新しい色の開発。クリスタルの可能性を広げ、生活の中にさりげなく、心地よい空間を作るための様々なアイテムを作り、様々なシーンに遊びと真の豊かさを添えています。また、技術の継承や歴史的遺産の継承のために、そして世界中のコレクターのために、美術館に所蔵される作品や、現物は失われ図面だけが残された作品を復刻するプロジェクトも行っています。さらに、現代のクリエイターとの共同制作で、バカラが長い間培ってきた技術のノウハウを、新しい発想で活かしたクリエイティブワーク、“ランコントロール コレクション ―伝統と現代の出会い―”を行うなど、歴史的ブランドとしての使命を担い、未来を見つめた活動にも力を注いでいます。

加えて、クリスタルにダイヤモンドやルビー、サフィアなどを組み合わせたまったく新しいビジュウコレクション、「Les Précieux プレシャスビジュウコレクション」や「メンズビジュウコレクション」も発表し、新しいファンを増やしました。

常に時代の中で、新しい創造性を追及しながらも、確かな技術と歴史に裏付けられた、変わらない美しさを生み出すバカラは、これからの時代も人々を魅了し続けることでしょう。